

セルラードローンを活用した鉄道インフラ予防点検の実証実験を開始

～インフラ構造物での点検作業の効率化と安全性の向上をめざす～
 株式会社NTTドコモ（以下、ドコモ）と東武鉄道株式会社（以下、東武鉄道）は、2018年2月より携帯電話ネットワークを利用するドローン（以下、セルラードローン）を活用した鉄道インフラの予防点検の実証実験（以下、本実証実験）を開始しました。ドコモはこれまで、ドコモ・ドローンプロジェクトの一環として、災害発生時の被災状況の確認や基地局、及び鉄塔・橋梁（きょうりょう）などの生活インフラの点検を想定した、セルラードローンを活用したソリューション開発に取り組んできました。ドコモはパートナーとともに新たな価値を協創する「+d」の取り組みを推進しており、セルラードローンを活用した社会的課題の解決をめざしています。

…

また、取得した点検画像の一部については、NTTグループのAI「corevo®」を構成するドコモの画像認識技術を活用した自動解析を行い、実用性を検証します。…

出典：ドコモ報道発表、2000文字数

http://www.tobu.co.jp/file/pdf/0f5fc3eafc73a1e18b62c9008c0385b4/newsletter_180413.pdf?date=20180413133524

従来技術

また、東武鉄道では、463.3キロにわたる長い営業キロにおいて、安全・安心な鉄道運行を維持するにあたり、セルラードローンなどの情報通信技術・ロボット技術を活用した、構造物などの予防点検の精度向上、点検コストの低減などについて検討してきました。

ドローンの飛行情報をLTEモバイルネットワーク経由で取得しながらモニタリングを行うことで、今回の実証実験場所のように広範囲かつ複雑な構造物の周辺であっても、安全なドローンの飛行が確認でき、今後の実用化に寄与すると考えています。

本技術

株式会社NTTドコモ（以下、ドコモ）と東武鉄道株式会社（以下、東武鉄道）は、2018年2月より携帯電話ネットワークを利用するドローン（以下、セルラードローン）を活用した鉄道インフラの予防点検の実証実験（以下、本実証実験）を開始しました。

また、取得した点検画像の一部については、NTTグループのAI「corevo®」を構成するドコモの画像認識技術を活用した自動解析を行い、実用性を検証します。

概要

- 情報が溢れる時代に、重要な情報の効率的な収集を実現するため、文書の自動要約作成システムを開発。
- 深層学習で情報量が豊富かつ内容が読みやすい要約を作成。
- 少量の学習データだけでシステムの最適化が可能。
- 出力文の長さはユーザから指定可能、原本に応じて自動調整可能。
- 日本語・英語・中国語対応可能。

利用シーン

- 新聞社の要約作成にかかる人件費を削除
- 一般ユーザの閲覧時間を短縮
- 特許と法的文書の重要内容の要約作成（拡張中）

コラボレーションパートナー

